

ふれあい 曾山医院

志筑1391-9
Tel:62-5566

2012年9月号
(第80号)

発行人
曾山 信彦



編集委員会



藤島 敦子
棟近 成氏
西岡 博子
赤松 陽子
福井 真巳
谷岡 尚子

予防接種について

予防接種とはワクチン(病原体や毒素の力を弱めて作った医薬品)を注射したり、飲んだりする事を言います。

きちんと予防接種を受ければ免疫力がつきその疾病の発症を抑えたり重症化を防いだりできます。また、予防接種によって免疫をつけた人が多い程、感染症の流行を抑えることができるので、社会全体の感染予防にも役立ちます。



ワクチンには大きく分けて、弱体化させた病原体を使う『生ワクチン』と死んだ病原体の中から、人が免疫を作るのに必要な成分を使う『不活化ワクチン』と病原体が産性する毒素のみを抽出し、毒性を抑えた『トキソイド』があります。

現在国内で予防接種に使われているワクチンは約一五種類あり、それぞれのワクチンは接種する時期や回数が定められています。複数回接種する必要があります。推奨される接種間隔があります。

予防接種の種類

定期接種	任意接種
<p>予防接種法に基づき自治体を実施します。接種する人から実費徴収もできますが、多くの自治体は一部を軽減したり、無料化しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DPT(三種混合)…ジフテリア・百日せき・破傷風 ・DT(二種混合)…ジフテリア・破傷風 ・ポリオ…今までは生ワクチンでしたが、ワクチンに含まれるポリオウイルスによって接種後に手足のまひなどを起こした事例があり、今年9月より不活化ワクチンに切り替わりました。 ・MR(麻疹・風疹混合) ・日本脳炎 ・BCG 	<p>費用は当院の自費料金です。※については費用補助があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ヒブワクチン ※小児肺炎球菌 <ul style="list-style-type: none"> ・肺炎球菌：費用：7,000円(75歳以上の方は市から4,000円の助成あり) ・インフルエンザ…費用：2,100円 ・水痘…費用：8,000円 ・おたふく風邪…費用：6,000円(3歳未満はどちらかに限り上限5,000円市から補助があります) ・B型肝炎…費用：5,250円 ・A型肝炎 ※子宮頸がん <ul style="list-style-type: none"> ・麻疹単独…費用：6,300円 ・風疹単独…費用：6,300円 ・ロタウイルス

【副反応】
呼吸困難やアナフィラキシーショックなど命にかかわる重いものから、注射した部位が

赤くなる程度の軽いものまで様々です。病気の予防のためには、『生』『不活化』の違いにかかわらず、必

要な予防接種を確実に受ける事が大切です。接種回数・費用等ワクチンによって異なります。又、当院では受け

付けていない予防接種もごさいますので詳しくはご相談ください。(看護師 西岡 博子)

2012年5月版

予防接種スケジュール

大切な子どもをVPD(ワクチンで防げる病気)から守るためには、接種できる時期になったらできるだけベストのタイミングで、忘れずに予防接種を受けることが重要です。このスケジュールはNPO法人VPDを知って、子どもを守る方の会によるもっとも早期に免疫をつけるための提案です。お子さまの予防接種に関しては、地域ごとの接種方法やVPDの流行状況に応じて、かかりつけ医と相談のうえスケジュールを立てましょう。

ワクチン名	接種済み	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	(歳年齢)
不活化 B型肝炎	任意	0	1	2	3	4	5	6	7	
生 ロタウイルス (2回接種・3回接種)	任意	0	1	2	3	4	5	6	7	
不活化 ヒブ	任意	0	1	2	3	4	5	6	7	
不活化 小児肺炎球菌	任意	0	1	2	3	4	5	6	7	
不活化 三種混合 (DPT)	定期	0	1	2	3	4	5	6	7	
不活化 ポリオ(単独)	定期	0	1	2	3	4	5	6	7	
生 BCG	定期	0	1	2	3	4	5	6	7	
生 MR (麻疹・風疹混合)	定期	0	1	2	3	4	5	6	7	
生 おたふくかぜ	任意	0	1	2	3	4	5	6	7	
生 みずぼうそう (水痘)	任意	0	1	2	3	4	5	6	7	
不活化 日本脳炎	定期	0	1	2	3	4	5	6	7	
不活化 インフルエンザ	任意	0	1	2	3	4	5	6	7	

不活化ワクチン 定期 定められた期間内で受ける場合は原則として無料(公費負担)。 定期予防接種の対象年齢 〇〇 必ず受けるべき接種回数
生ワクチン 任意 多くは有料(自己負担)。ワクチンによっては公費助成があります。 任意接種の接種できる年齢 ●次にはかの種類のワクチンが接種できるのは、不活化ワクチン接種後は1週間後の同じ曜日から、生ワクチン接種後は4週間後の同じ曜日からです。
同時接種：同時に複数のワクチンを接種することができます。安全性は単独でワクチンを接種した場合と変わりません。 国や日本小児科学会は乳幼児の接種部位として大腿外側部を推奨しています。くわしくはかかりつけ医にご相談ください。 詳しい情報は <http://www.know-vpd.jp/> VPD 検索